



## 和生菓子

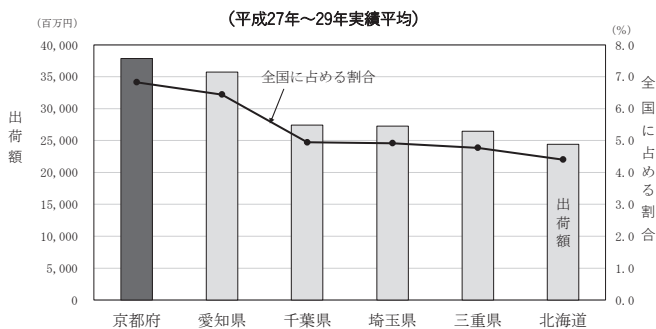
京都の夏の風物詩である「水無月」が、和菓子店に並ぶ季節となりました。

「水無月」の由来は平安時代に遡ります。1年の折り返しにあたる6月30日に半年の無病息災を祈念する「夏越しの祓」に当時の貴族は氷室の氷を削って食べましたが、一般の人々にとって氷は高価なものだったため、氷を模した三角形のういろうのお菓子が考案されたそうです。

和生菓子は京都に馴染みの深いものです。出荷額を見てみると、和生菓子について、「平成28年経済センサス-活動調査」から「平成30年工業統計調査」による過去3年間（平成27年～29年実績）の平均の製造品出荷額は、378億7千9百万円となり、京都府が全国第1位でした。（図1）

※「工業統計調査」は、「経済センサス-活動調査」の実施中間年における経済構造統計を作成することを目的とする調査です。

図1 和生菓子の製造品出荷額（全国上位）

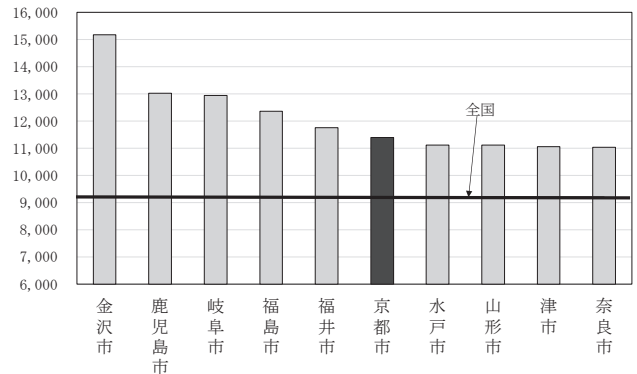


出典：総務省・経済産業省「平成28年経済センサス-活動調査」  
総務省・経済産業省「平成29年、30年工業統計調査」

次に、支出額を見てみると、「家計調査」（2017年～2019年）の過去3年間の平均で、都道府県庁所在市・政令指定都市を比較すると、1世帯（総世帯）当たりの和生菓子年間支出額は、全国は9206円で、京都市は1万1401円で、全国6位でした。（図2）

また、「家計調査」（2017年～2019年）の過去3年間の平均によると1世帯（総世帯）当たりの和生菓子支出金額の内訳は、全国はようかんが586円、まんじゅうが944円、他の和生菓子は7676円で、京都市は、ようかんが953円、まんじゅうが659円、他の和生菓子は9789円でした。（表1）

図2 1世帯（総世帯）当たり和生菓子年間支出額  
都道府県庁所在都市及び政令指定都市ランキング（10位まで）  
（2017年～2019年平均）



出典：総務省「2017年、2018年、2019年家計調査（総世帯）」

全国と比べて京都市は、食料支出が3000円程度少ないにもかかわらず、他の和生菓子では2000円程度多く支出しているため、「水無月」を含む他の和生菓子により多く支出していることが分かりました。

みなさんも和菓子で、京都の四季を感じてみませんか。

表1 1世帯（総世帯）当たり和生菓子支出金額内訳（京都市）  
（2017年～2019年） 単位：円

区分	和生菓子				(参考) 食料支出
	計	ようかん	まんじゅう	他の和生菓子	
全国	9,206	586	944	7,676	814,440
京都市	11,401	953	659	9,789	811,177

出典：総務省「2017年、2018年、2019年家計調査（総世帯）」

水無月の由来：平成30年6月20日「日本経済新聞」掲載記事参照